

性能試験成績証明書

試験結果より当該申請金物が平成12年建設省告示1460号第2号表3に定めるもの※（必要耐力8.50kN）と同等以上の基準耐力を有することを認める

※（ほ）厚さ3.2mmの鋼板添え板に径12mmのボルトを溶接した金物を用い、柱に対して径12mmのボルト締め及び長さ50mm、径4.5mmのスクリーナ釘打ち、横架材に対して厚さ4.5mm、40mm角の各座金を介してナット締めしたもの又は厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径12mmのボルト締め及び長さ50mm、径4.5mmのスクリーナ釘打ちとしたもの

| | |
|--------|--|
| 試験名称 | 耐力壁が取り付く柱の仕口（中柱型）引張試験 |
| 依頼者 | 株式会社 カナイ 所在地 : 埼玉県八潮市西袋717-1 連絡先 : 048-924-1131 |
| 試験体 | 1. 接合金物 商品名 : メルト羽子板ボルト 寸法 : 図2.1、図2.2、図2.3参照 材質 : SWRM8 (JIS G 3505) 表面処理 : Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610 及び JIS H 8625) 2. 接合具 アンカーボルト : 六角ボルト M12×140mm 1本 材質 : SS400 (JIS G 3101) 表面処理 : Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610 及び JIS H 8625) 座金 : 角座金 W4.5×40×40mm t=4.5mm 2個 材質 : SPHC (JIS G 3131) 表面処理 : Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610 及び JIS H 8625) ナット : ナット M12 材質 : SWCH 10R (JIS G 3507) 相当品 2個 表面処理 : Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610 及び JIS H 8625) 3. 使用軸組 柱 : 105×105×600mm すぎ 土台（横架材） : 105×105×1000mm すぎ 4. 試験体数 : 7体（うち1体は予備試験体） 試験体の形状・寸法は図3.1、図3.2参照 |
| 試験方法 | 「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」に基づく （監修：国土交通省住宅局建築指導課，国土交通省住宅局木造住宅振興室） |
| 試験結果 | 短期基準接合耐力 9.6kN |
| 試験実施日 | 平成17年 7月26日、7月27日 |
| 試験実施場所 | 電源開発株式会社 技術開発センター 茅ヶ崎研究所 建設材料実験棟 |
| 担当者 | 研究員 中山一孝 技術員 伊藤和幸 技術員 木下 茂 技術員 鈴木香澄 |
| 備考 | |

| | |
|----------|---|
| 証明書発行番号 | HP05-KT023 |
| 証明書発行年月日 | 平成17年 8月 9日 |
| 証明書発行者 | ハウスプラス住宅保証株式会社 （国土交通大臣指定住宅性能評価機関第16号） （国土交通大臣指定確認検査機関第9号） |



ハウスプラス住宅保証株式会社



品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。



一般財団法人 建材試験センター
中央試験所長 黒木 勝
埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号



| | |
|----------------------|---|
| 試験名称 | 木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験 |
| 依頼者 | 会社名：株式会社 カナイ 所在地：埼玉県八潮市西袋717-1 |
| 試験体 (依頼者 提出資料) | 1. 接合金物 名称：木造建築用梁仕口金物 商品名：メルト羽子板ボルト+フリーダムコーナーFC-10 用途：梁-梁の隅角部に使用する金物 寸法：メルト羽子板ボルト 285×26mm フリーダムコーナーFC-10 115×46×30mm, 板厚6mm 2. 接合具 木ねじ：φ6.0×90mm, 加力梁側5本, 支持梁側4本使用 3. 使用軸組 加力梁：樹種；べいまつ, 寸法；105×150mm 支持梁：樹種；べいまつ, 寸法；105×150mm 4. 試験体数 7体（うち1体予備試験体） 参照：図-1～図-3（試験体の形状・寸法） |
| 試験方法 | 木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2008年度版）（企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の6章「試験方法と評価方法」に従って行った。試験方法を図-4に示す。 |
| 試験結果 | 短期基準引張耐力（Pot）：16.2kN 耐力算定基礎資料：表-1 荷重-変位曲線：図-5～図-7 破壊状況：写真-1～写真-6 |
| 試験期間 | 平成24年10月25日 |
| 担当者 | 構造グループ 統括リーダー 川上 修 統括リーダー代理 赤城 立也 主 任 上山 耕平（主担当） |
| 試験場所 | 中央試験所 |

報告書番号:R12-158
試験番号:T1212V167
受付日:平成 24 年 11 月 13 日

試験報告書

- 株式会社 カナイ 様 -

発行日 平成 24 年 12 月 28 日



1. 試験概要

| | |
|------|--|
| 試験名称 | 木造建築用接合金物の引張試験 (MULTI羽子板ボルト+フリーダムコーナーF-C10×2個使い) (梁梁出隅型) |
| 依頼者 | 会社名 : 株式会社カナイ 所在地 : 埼玉県八潮市西袋717-1 |
| 試験内容 | [仕様] 加力梁 : ペイマツ; 105×150×866mm 支持梁 : ペイマツ; 105×150×472.5mm |
| | [接合金物] 商品名 : MULTI羽子板ボルト : フリーダムコーナーF-C10 ×2個 |
| | [接合具] 接合具 : 六角ボルト; M12×140 ×1本 : 角座金; W4.5×40×40 ×2個 : M12用ナット ×2個 : 木ねじ; 3#角ビット鍋スクリューφ6.0×90 ×18本 |
| | [試験体数] : 7体 |
| 試験方法 | 「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)企画編集(財)日本住宅・木材技術センター」における「第6章 試験方法と評価方法」の「6・5 継手・仕口接合部の試験」に準じて行った。 |
| 試験結果 | 短期基準接合耐力 : 21.38kN |
| 試験期間 | 平成24年12月27日 |
| 担当者 | 試験担当者 : 株式会社住宅構造研究所 須佐美 雄介 松元 あかね 試験報告書担当者 : 株式会社住宅構造研究所 須佐美 雄介 |
| 試験場所 | 株式会社住宅構造研究所 東京都足立区東保木間1-4-2 |